

MERIDIAN

展示会通信第59号

第58回有瀬図書館ギャラリー展
博物館実習Ⅰ

かわいい 考古学

2021年11月7日(日)～26日(金)
有瀬図書館本館2階
エントランス展示コーナー

※開催時間や開催期間は変更になることがあります。
図書館HP・掲示にてご確認の上ご来館ください

「かわいい考古学」

考古学の魅力とは、発掘されたモノから人々の歴史に直接触れられることです。

日本人は原始・古代から現在に至るまで、自然と人間の中間にいる存在を「かわいい」造形にする特異な才能を発揮してきました。

そこで、私たち実習生が神戸市埋蔵文化財センターで見学した考古資料の中から「かわいい」と魅力的に感じたものを紹介していきます。



展示資料紹介(一部)



展示資料①須恵器(提瓶)^{ていへい}

須恵器の提瓶は、水筒のように持てる容器として使用されていました。下げるための紐を通す輪が本来の用途としては使われなくなり、装飾として突起が残存しています。

何故突起のあるデザインになったのか知らずに使っていた古墳時代の人たちがかわいい！



展示資料②円筒埴輪

古墳を囲むように飾る筒形の埴輪は、通常、高さ50cmから1mを大きく超えるものもあります。神戸市内の古墳からは、高さが30cm以下の小さなものが見つかっています。

植木鉢に見えてかわいい！



展示資料③土製竈^{かまど}

古墳に副葬するものと祭りに使うものとの2種があり、土製模造品の一つでもあります。

ツノ付きの帽子みたいでかわいい！





いいだこつぼ

展示資料④飯蛸壺

弥生時代中・後期から古墳時代、奈良時代にわたって、飯蛸(小型の蛸)を捕るときに使われたものだと考えられています。

ちいさくて丸いのがかわいい!



今回展示を開催するにあたってお力添えいただいた神戸市埋蔵文化財センター・本学図書館の皆様には感謝の意を表します。

神戸学院大学博物館学芸員課程

津島咲良、藤本麻侑加、市川茂茄、大川泉、川添早紀、森田有稀

神戸学院大学図書館 展示会通信MERIDIAN 第59号

2021年11月00日発行

発行・編集：神戸学院大学図書館

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518

TEL:078(974)4584 E-mail: pub-lib@j.kobegakuin.ac.jp

ホームページURL: <http://opac.kobegakuin.ac.jp/>